

CANOX

第 9 1 期 株 主 通 信

2018年4月1日 ▶ 2019年3月31日

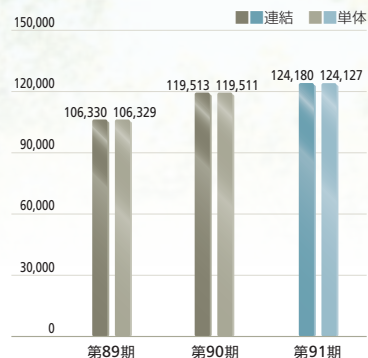
株式会社 カノクス

証券コード：8076

決算ハイライト

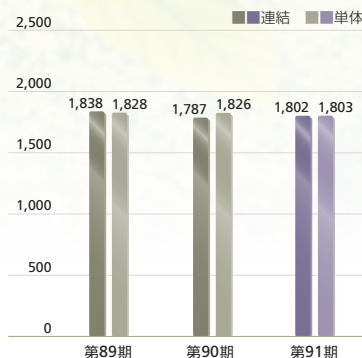
売上高

(単位：百万円)



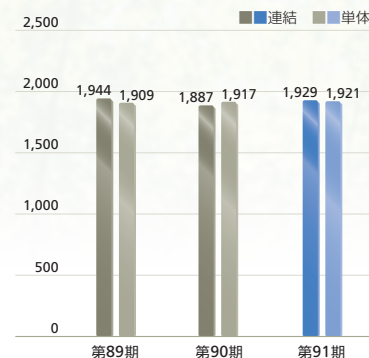
営業利益

(単位：百万円)



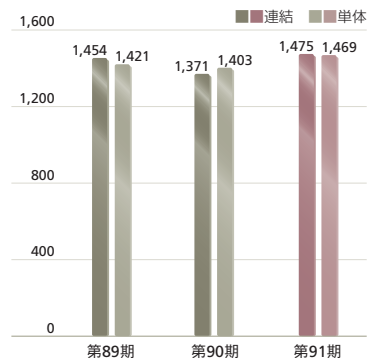
経常利益

(単位：百万円)



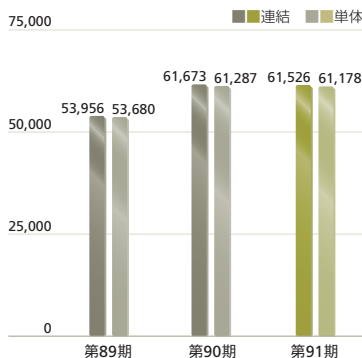
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結) 当期純利益 (単体)

(単位：百万円)



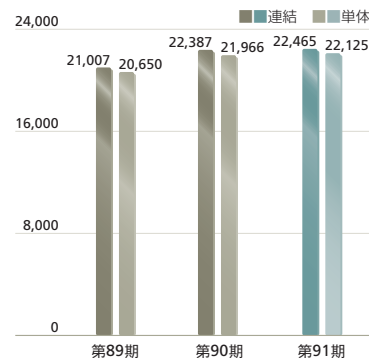
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



Contents

- ▶ 決算ハイライト 01
- ▶ 株主の皆様へ 02
- ▶ 主な取扱品目 03
- ▶ 連結財務諸表 05
- ▶ 個別財務諸表 07
- ▶ 事業ネットワーク 08
- ▶ 会社概要 09
- ▶ 株式の状況 10

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は第91期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）が終了しましたので、一言ご挨拶申し上げます。

2019年6月



代表取締役社長 高木 清秀

第92期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）見通しについて

今後の当社グループを取り巻く経済環境については、自動車、建築をはじめとした生産活動はここ数年続いてきた堅調さを概ね持続すると予想される一方で、日本国内では人手不足、輸送コストの上昇や原材料アップなど諸経費は構造的に上昇するものと思われます。また、米国、中国、欧州を中心とする貿易摩擦、保護主義の強まりは直接、間接的にその影響が下振れ要素として懸念されます。

かかる環境下、当社グループは経営理念である「お客様に第一に求められる企業」を念頭にそれぞれの事業場所において地域経済への貢献を明確なミッションと位置付け、加工機能を強化してより付加価値のあるサービスの向上に取り組んでまいります。

今期の業績につきましては、売上高1,276億22百万円、営業利益17億60百万円、経常利益18億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12億35百万円を見込んでおります。

新中期経営計画について

当社グループは2018年度をもって第8次中期経営計画を定量目標である売上高1,150億円、経常利益18億円をクリアして終了しました。前中計では働き方改革に積極的に取り組むと同時に、グループ会社の社名統一によるブランドを意識した戦略をスタートし、最終年度では長年行ってこなかった新規事業投資に踏み出し、需要家様への機能強化、取引分野の深耕、幅出しを可能とする施策にも着手することが出来ました。

本年度は2019年度から2021年度までの3カ年の第9次中期経営計画の初年度となります。新中期経営計画のテーマは「新たな成長に向けて事業基盤の構築」であります。前中計において総額36億円の新規事業投資を決定し、従来のトレードによる収益に加え、当社自らが加工機能を持った自立型収益モデルに舵を切りました。新中計では東北、東海、九州地区での投資事業の着実な立ち上げと、物流や統一システムへの取り組みを通じた新たな付加価値を市場に提供してまいります。新規事業に関わるコスト先行の新中計となりますが、既存の優良顧客への提案型営業を一層強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の事情をご賢察いただきまして、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

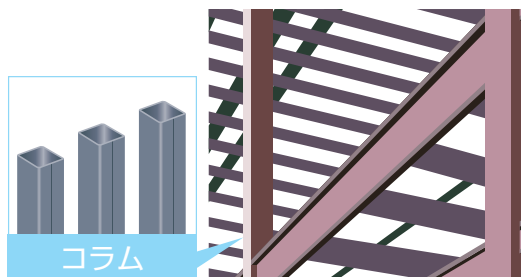
▶ 主な取扱品目

品 種 別 売 上

鋼 管 230億56百万円 18.6 %

一般的には、建築資材や機械部品に用いられるものや、ガスや水を通すパイプなど多種多様な用途に用いられるものがあります。

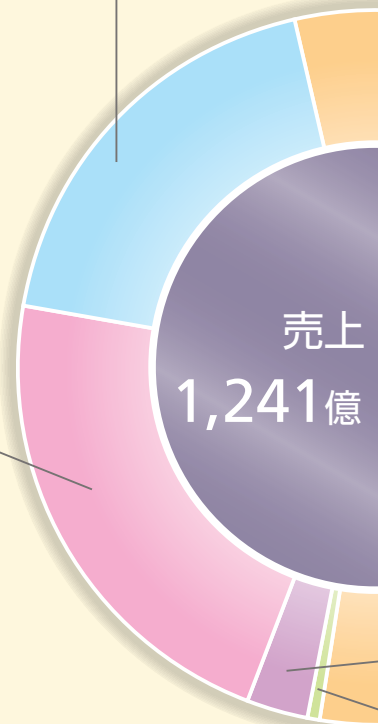
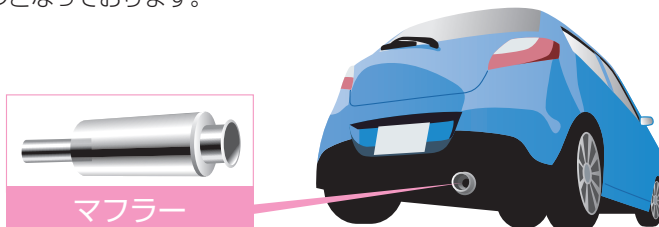
当社でも、様々な製品の材料として切断等の加工を施し販売しており、主なものには、自動車の座席シートまわりの部品や、建物の骨格として使用される角型鋼管(コラム)等の材料があります。



ステンレス等 270億20百万円 21.8 %

ステンレス鋼は錆を防ぐためのめっきや塗装をしなくても済み、耐食性に優れています。屋外や湿気のある場所での使用、例えば構造物や鉄道車両の外観、自動車部品などの様々な分野に用いられております。

当社では主に自動車の排気系部品に使われる材料などを扱っており、主力商品のひとつとなっております。



高構成比

高
80百万円

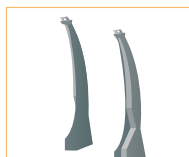
鋼板 700億41百万円 56.4%

自動車・船舶・鉄道車両・建築物・海洋構造物の部材など非常に幅広い分野で使用されている材料です。

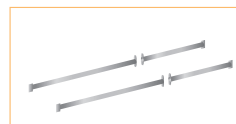
当社では主に自動車部品や鉄製シャッターなどに使用される薄板を中心に、鉄鋼メーカーより購入した材料をお客さまからご要望頂いた寸法に加工を施し販売しております。



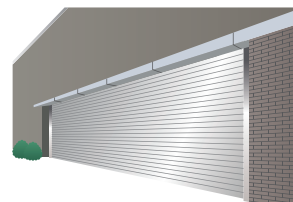
フロントピラー



センターピラー



ドアビーム



シャッター

条鋼 34億20百万円 2.8%

建築用の構造材などに使用される型鋼や、コンクリートの補強用などに使用される棒鋼、土砂崩れを抑えるために使用される鋼矢板など、主に土木・建築用途に使用されている材料です。

その他 6億41百万円 0.4%

▶ 連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期 2019年3月31日	前期 2018年3月31日
1 資産の部		
流動資産	51,385	51,789
固定資産	10,121	9,857
有形固定資産	4,821	3,948
無形固定資産	20	26
投資その他の資産	5,278	5,881
繰延資産	19	26
資産合計	61,526	61,673
2 負債の部		
流動負債	32,946	33,952
固定負債	6,114	5,333
負債合計	39,060	39,285
3 純資産の部		
株主資本	19,266	18,951
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	15,939	15,085
自己株式	△785	△246
その他の包括利益累計額	3,198	3,436
その他有価証券評価差額金	2,400	2,777
土地再評価差額金	981	755
退職給付に係る調整累計額	△182	△96
純資産合計	22,465	22,387
負債及び純資産合計	61,526	61,673

〇 前期比較

① 資産の部

当期末における流動資産は513億85百万円となり、前期末に比べ4億4百万円減少しました。これは主に現金及び預金の減少38億22百万円、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）の増加14億21百万円、商品の増加21億63百万円であります。固定資産は101億21百万円となり、前期末に比べ2億64百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加8億73百万円、投資有価証券の時価の下落4億95百万円によるものであります。

この結果、総資産は615億26百万円となり、前期末に比べ1億47百万円減少しました。

② 負債の部

当期末における流動負債は329億46百万円となり、前期末に比べ10億5百万円減少しました。また、固定負債は61億14百万円となり、前期末に比べ7億80百万円増加しました。これらは主に長期借入金の借換え10億円によるものであります。

③ 純資産の部

当期末における純資産は224億65百万円となり、前期末に比べ77百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上14億75百万円、配当金の支払3億95百万円、自己株式の取得5億38百万円、その他有価証券評価差額金の減少3億77百万円によるものであります。

連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
4 売上高	124,180	119,513
売上原価	117,866	113,378
売上総利益	6,313	6,134
販売費及び一般管理費	4,510	4,346
4 営業利益	1,802	1,787
営業外収益	272	259
営業外費用	145	159
4 経常利益	1,929	1,887
特別利益	92	139
特別損失	—	23
税金等調整前当期純利益	2,021	2,004
法人税、住民税及び事業税	658	683
法人税等調整額	△111	△51
当期純利益	1,475	1,371
4 親会社株主に帰属する当期純利益	1,475	1,371

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
5 営業活動による キャッシュ・フロー	△1,989	331
6 投資活動による キャッシュ・フロー	△894	△13
7 財務活動による キャッシュ・フロー	△938	△450
現金及び現金同等物の 増減額	△3,822	△133
現金及び現金同等物の 期首残高	8,309	8,442
現金及び現金同等物の 期末残高	4,487	8,309

前期比較

- ④ 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益
販売面では、数量の増加、単価の上昇により、売上高は1,241億80百万円と前期比3.9%増となりました。利益面におきましては、輸送コストを中心とした販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は18億2百万円（同0.8%増）、経常利益は19億29百万円（同2.2%増）となりました。また、固定資産売却益による特別利益92百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は14億75百万円（同7.6%増）の結果となりました。
- ⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益20億21百万円の計上はありましたが、売上債権の増加14億21百万円、たな卸資産の増加21億63百万円、法人税等の納付6億87百万円等による資金減少要因が上回ったため、19億89百万円の資金減少となりました。

- ⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入2億39百万円等による資金増加はありましたが、有形固定資産の取得による支出10億98百万円等により、8億94百万円の資金減少となりました。
- ⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出5億38百万円、配当金の支払による支出3億95百万円により、9億38百万円の資金減少となりました。

貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	2019年3月31日	2018年3月31日
資産の部		
流動資産	51,121	51,467
固定資産	10,036	9,793
有形固定資産	4,619	3,866
無形固定資産	20	26
投資その他の資産	5,396	5,900
繰延資産	19	26
資産合計	61,178	61,287
負債の部		
流動負債	32,942	33,945
固定負債	6,110	5,375
負債合計	39,052	39,321
純資産の部		
株主資本	18,747	18,437
資本金	2,310	2,310
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	15,416	14,568
自己株式	△781	△243
評価・換算差額等	3,378	3,528
その他有価証券評価差額金	2,397	2,773
土地再評価差額金	981	755
純資産合計	22,125	21,966
負債及び純資産合計	61,178	61,287

損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日	自 2017年4月1日 至 2018年3月31日
売上高	124,127	119,511
売上原価	117,736	113,288
売上総利益	6,391	6,223
販売費及び一般管理費	4,587	4,396
営業利益	1,803	1,826
営業外収益	280	260
営業外費用	162	168
経常利益	1,921	1,917
特別利益	92	139
特別損失	—	23
税引前当期純利益	2,013	2,033
法人税、住民税及び事業税	655	682
法人税等調整額	△111	△51
当期純利益	1,469	1,403

▶ 事業ネットワーク

★：事業所

●：工場

◆：倉庫

■：グループ

※協力加工工場

(株)スズヤス

五十鈴(株)

(株)メタルワン・スチールサービス

札幌営業所
札幌市中央区

東北支店
北上市

※1 (株)カノクス鋼管北上
北上市

※2 (株)カノクス鋼管関東
太田市

北関東支店
太田市

市川センター
市川市



本社／名古屋本店
名古屋市中区

静岡営業所
静岡市葵区



東京支社
東京都中央区

※3 (株)カノクス物流・豊田センター
豊田市



(株)空見スチールサービス
名古屋市中区

※3 (株)カノクス物流・空見センター
名古屋市中区

金沢営業所
金沢市

石川技研工業(株)
白山市



関西支店
大阪市中央区

中国営業所
広島市南区



九州支店
福岡市博多区

板付倉庫
福岡県粕屋郡

四国センター
西条市

四国営業所
西条市

※4 (株)カノクス鋼管九州
中津市

- ※1. 株式会社カノクス北上は2018年10月1日付で商号が株式会社カノクス鋼管北上に変更となりました。
- ※2. 新日本鋼業株式会社は2018年10月1日付で商号が株式会社カノクス鋼管関東に変更となりました。
- ※3. 加納物流センター株式会社は2018年10月1日付で商号が株式会社カノクス物流に変更となりました。
- ※4. 加納興産株式会社は2018年5月28日付で商号を株式会社カノクス鋼管九州に変更し、主要な事業内容を鋼管切断加工としました。

会社の概況

(2019年3月31日現在)

商号 株式会社カノクス
英訳名：CANOX CORPORATION

創業年月日 1897年12月1日

設立年月日 1948年1月29日

資本金 23億1千万円

従業員数 181名

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

主要な事業内容 鉄鋼及び鉄鋼関連商品の販売

役員

(2019年6月26日現在)

代表取締役社長	高木清秀	取締役	宮島元子	専務執行役員※	首藤隆彦
取締役	首藤隆彦	取締役	佐藤宣之	常務執行役員※	富田清隆
取締役	富田清隆	常勤監査役	亀田善也	常務執行役員※	藤條修也
取締役	藤條修也	監査役	内野秀幸	常務執行役員※	松永敏博
取締役	松永敏博	監査役	星健一	執行役員※	小西伸雄
取締役	小西伸雄				

(注) ※を付した執行役員は取締役を兼任しております。

ホームページのご案内

当社では、IR活動の一環として、ホームページを充実させております。

株主の皆様へは、よりスピーディーな情報提供を心掛け、決算情報や取引所への開示資料等を発表と同時にホームページにアップしています。

他にも企業情報等掲載していますので、皆様のアクセスをお待ちしております。

ホームページアドレス <http://www.canox.co.jp/>

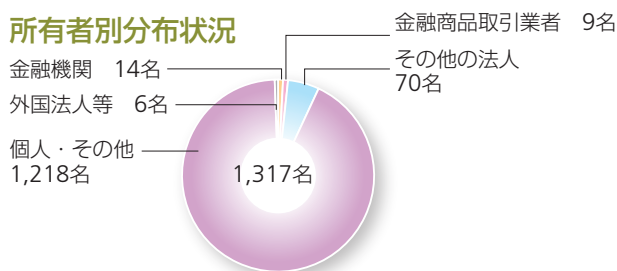


株式の概況

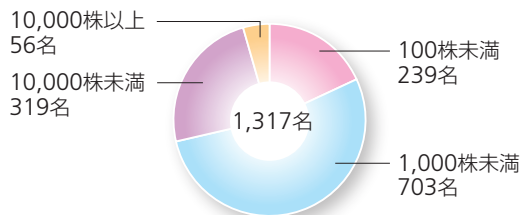
(2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 19,443,000株
 発行済株式の総数 10,067,729株(自己株式1,035,771株を除く)
 株主数 1,317名

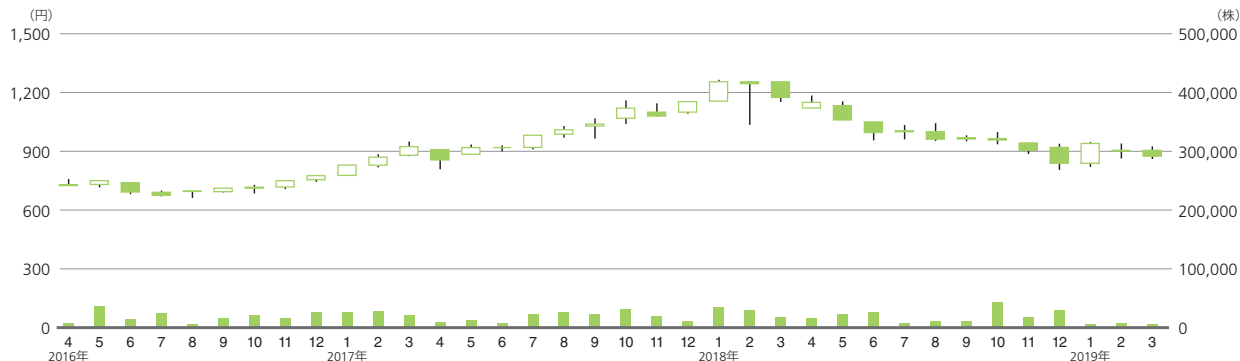
所有者別分布状況



所有数別分布状況



株価および出来高の推移



大株主の状況

(2019年3月31日現在)

氏名又は名称	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社メタルワン	4,380,000	43.51
日新製鋼株式会社	1,500,000	14.90
株式会社三菱UFJ銀行	455,724	4.53
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	371,100	3.69
株式会社愛知銀行	343,500	3.41
加納光太郎	228,235	2.27
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	131,400	1.31
株式会社中山製鋼所	131,250	1.30
株式会社第三銀行	114,875	1.14
加納勝彦	112,740	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式1,035,771株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 日新製鋼株式会社は、2019年4月1日付で日鉄日新製鋼株式会社に商号変更しております。

株式についてのご案内

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 株主総会	定 時 毎年6月 臨 時 必要あるときに公告して開催する。
■ 配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日
■ 公告方法	電子公告 (http://www.canox.co.jp/) ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。
■ 株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (通話料無料) 0120-232-711
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、株主様個人の口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）でお取り扱いすることとなっておりますので、その口座管理機関にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座（NISA 口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA 口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要がございます。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA 口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株式会社 カノクス

本 社	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3511	東 北 支 店	北上市相去町大松沢1-96	電話 0197-67-6429
名古屋本店	名古屋市西区那古野1-1-12	電話 052-564-3611	札幌営業所	札幌市中央区大通西6-2-6	電話 011-231-4651
東 京 支 社	東京都中央区日本橋本町3-6-2	電話 03-5651-5301	金沢営業所	金沢市北安江1-3-24	電話 076-263-5461
関 西 支 店	大阪市中央区本町2-1-6	電話 06-6266-1300	静岡営業所	静岡市葵区栄町3-1	電話 054-251-2171
九 州 支 店	福岡市博多区博多駅前1-4-1	電話 092-289-8631	中国営業所	広島市南区稲荷町3-20	電話 082-262-1133
北関東支店	太田市飯田町1303	電話 0276-48-5351	四国営業所	西条市今在家820-1	電話 0898-64-6095

